

平成21年度 第1回 米子市図書館協議会・会議録（概要）

○日 時 平成21年10月29日 木曜日 午後1時30分から午後3時30分

○場 所 米子市立図書館 大会議室（2階）

○出席者 委 員

植田 潔、勝部 将之、小早川 君子、大原 俊二、
齊木 恭子、大原 和夫、渡邊 眞子、灘尾 亜紀子（川崎 孝さん代理）

事務局

（米子市立図書館）齊下館長、伊藤副館長

（米子市教育委員会）北尾教育長、手島生涯学習課長、渡部課長補佐、田中主任

（総合政策課）湯浅課長、大塚課長補佐

○欠席者 委 員

松本 修一、神庭 美喜恵

○傍聴者 3名

【運営委員会の概要】

○開 会

事務局より開会

北尾教育長あいさつ

皆さん、こんにちは。今年の5月に教育長を拝命いたしました北尾です。図書館協議会には初めて参加させていただきます、よろしく願いいたします。学校に在職中は図書館の利用がほとんどできませんでしたが、学校図書館はここ10年くらいで大きく変化しました。特に市立図書館を中心にネットワークができ、市立図書館の支えがあって学校図書館が運営されています。また、ご心配をおかけしています伯耆の国よなご文化創造計画ですが現在市内のプロジェクトチームで検討をすすめており、いろいろな課題を整理中の段階です。委員のみなさんのご意見ご提言をよろしく願いいたします。

○会長あいさつ

大原（俊）会長あいさつ

本日はご出席いただきありがとうございます。

みなさんは図書館に来られたとき、どんな気持ちになられるでしょうか。渡邊副会長は「本の前に立つときどきする」と言っておられました。図書館の持つ独特の雰囲気であたしたちの期待を満たしてくれるものがある、図書館はそういう場所だと思います。

今月の日本海新聞の記事にこういったことが載っていました。「噴水広場の横を歩く。人通りは少なく立ち木も歩道も手入れされていない。だんだん楽しくなくなり、やがていらだってくる。人の心を豊かにするはずの文化としての美術館や図書館、それなのにこのつまらなさはどこから来るのか…」といった趣旨のものでした。やはり環境が人に与える影響というのは大きいと思います。今プロジェクトチームで検討中ということでしたが、そういった環境を含めて考えていく必要があると思います。今日は委員のみなさんと市立図

書館の館内を見て現状を認識いただいたと思いますので、感想などを含めて意見を出していただきたいので、よろしく願いいたします。

出欠報告並びに初参加者自己紹介

(植田委員、灘尾代理 自己紹介。総合政策課 湯浅課長、大塚課長補佐 自己紹介)

○市立図書館内視察

(図書館内の各設備を巡りながら、伊藤副館長の説明を受ける。一巡後、会議室へ帰着)

○議 事

大原会長

それでは議事について説明をお願いいたします。(1)と(2)の項目は一緒に説明されますか。

齊下館長

はい、あわせて説明をさせていただきます。資料については事前にお送りさせていただいております。要点のみの説明とさせていただきます。

(項目(1)平成20年度決算及び事業概要報告について

(2)平成21年度予算及び事業について を一括で説明)

大原会長

委員の皆様なにかご質問等ございましたらお願いいたします。

では、私から。資料3の図書館費・報酬のところには非常勤職員とありますがこれは事務員さんですか。

齊下館長

はい。

大原会長

館長さんの報酬というのはどこから出ているのでしょうか。

齊下館長

私は市の職員ですので、図書館費という項目ではないところから出ております。

大原会長

同じく資料3の教育文化事業団業務委託料の中に人件費として正職員5人・嘱託3人・臨時5人とあります。現在図書館では何人のスタッフが勤めているのですか。

齊下館長

そちらに上がっている人数は事業団のスタッフ13人です。うち1人が育児休暇中です。現在、事業団と市を合わせて14人が図書館で勤務しています。

大原会長

ということは館長さんの報酬と事務員さんの報酬、そして事業団の職員は委託料からと複数の給与体系があるということです。私個人の意見としては、一本化をして司書のみなさんの待遇をよくしていくべきではないかと思えます。

また、合併前後の頃から図書館に係る予算が下がり、昨年度よりも今年度は少しよくなったもののまだ足りないと感じています。

ほかにご意見ありませんか。

では、次のその他です。今日は館内も見学をさせていただきましたので、その感想もあわせて委員のみなさまから一人一言ずつご意見をお願いいたします。6月の新聞記事にありましたが副市長と教育長をトップとするプロジェクトチームが発足しております。今日は市立図書館の問題点を感じていただいたと思います。今後整備することを踏まえてご意見をお願いいたします。では齊木委員から。(以後、着席順に時計回りで発言)

齊木委員

今日初めて館内を見させていただきました。開架されている本が少なく、もったいないと思いました。スペースの問題など本の保存状態に苦慮しておられる内情を目にしました。また、会議室は学習室として使われることもあります。このように会議室利用中は一般の方が使えないといった不自由な面についても見させていただきました。こういった状況を市民の方にも知ってもらうような機会があればという気がしました。

小早川委員

私は幼稚園に勤めているんですが、たくさんいい絵本があるのももったいないと思います。もっとうまく利用させていただけないのかなと思います。もうちょっとみんなが利用できる方法がないのかな、幼稚園でも利用できる方法がないのかなと思いました。

灘尾代理

図書館は何年に建てられたものなんですか。

齊下館長

昭和53年に県立図書館として建てられました。平成2年から市立図書館となりました。

灘尾代理

結構経ってるんですね。かつてはピカピカだった印象があります。読み聞かせをするときに市立図書館で選書をして持っていています。学校図書館でも児童書を充実してもらえたらと思います。

勝部委員

特別展等見させていただいています。少し違う話をするかもしれませんが、日頃からいろんなお店などにも行くのですが、一般のお店でもトイレがきれいなところに人が来る。そういった環境面でも整えていただければ、人が来なくなる図書館になるんじゃないかと思いません。

大原和委員

今日は資料室等も見させていただきましたが、触れることができない書籍が多いことに驚きました。原則触れられなくて例外的に閲覧できる、というのは原則と例外が逆転しているんじゃないかと思いません。施設的な制約があるかもしれないが、自由に閲覧できて本の中から本を探すというような、基本理念をもう一度見つめなおしてもらいたいと思います。

植田委員

昔はよく来ていたんですが、行かないようになったのはなぜだろうと考えてみると、図書館が思ったより小さいな、本が少ないなという印象を持っていて、2階にも参考図書など多くの本があることを初めて知りました。また、ゆったりと時間が過ごせるよう個人の席がもっとあればと思いました。

大原会長

今日は大勢でまわったせいか狭く感じました。大原和委員のおっしゃったように、本は目に触れることができるというのが原則ではないかと思います。その他の場所も狭いですし、ぜひ拡充を図ってほしい。利用者側と行政が意見をすり合わせていくことが大事だと思います。

渡邊副会長

図書館の方たちの努力を感じました。私は高齢者や親子のみなさんにいい本を届けたい一心で図書館に通ってきました。本は増えてきましたが、人を増やすことが必要だと思います。人が受け渡すことで本が生きるのだと思います。

また、利用者の声として、お子さんづれのお母さんからは「駐車場が遠くて不便である、駐車場で子どもが事故にあいそうになって危ない」等の声も聞いていますし、バリアフリーの要望もしていますが一向に改善されません。

小学校では「図書館から本が借りれて子どもたちの勉強が広がった、ありがたい」といった声を聞きます。一方で本が少ない、図書館の本が学校に出してしまうと図書館で利用できる本が少なくなってしまうといったこともあります。子どもは自分では本が買えませんので、児童書の充実をしていただきたいと思います。

プロジェクトチームが立ち上がったことはすばらしいことですが、他の図書館のすばらしさを知って、よいところを取り入れていただきたいと思います。岡山県立図書館に視察に行ったときの老夫婦の「一日いても飽きません」という言葉が印象に残っています。利用者の声を聞いて整備を進めて欲しいと思います。

大原会長

プロジェクトチームの今の進捗状況について教えていただけますか。

湯浅課長

新市まちづくり計画の中の重点プロジェクトのひとつに「伯耆の国よなご文化創造計画」が記載してあります。この計画にはソフト事業・ハード事業の両方がありますが、ハード事業の中に図書館・美術館の増改築が掲げられています。これまで、市民の声を聞くためにワークショップ等にも取り組み、素案的なものでできていましたが、素案の実現の可能性等について見直しがかかりました。さまざまな課題を総合的に検討しなおすために、関係する部署を加えてプロジェクトチームを立ち上げました。そして今までの経緯について共通認識を持つために勉強会を行い、現在内部会議を行っています。検討に当たっては市民の声を聞いていきたいと考えていますが、前段としてまず耐震診断が先決だと考えています。直さなくてはならない箇所を把握していかないといけません。そして来年度予定しています基本設計に基づいて、引き続き声を聞いていきます。その後、予算等さまざまな条件を勘案して実施設計に移り、平成24年度中に完成させたいというスケジュール感を持ってやっております。

大原会長

議会の中で噴水広場の活用といった提案がありましたが、検討状況はどうなっていますか。

隣の二中の跡地はどうなるんですか。

湯浅課長

まだ検討中の段階です。選択肢の一つとしては、議会でも提案いただいた噴水広場の活用ということもあります。いずれにしても、旧二中は今のままでは維持できないので壊すということは考えていますが、その後をどうするかについては白紙の状態です。

大原会長

早く決めないと間に合わないんじゃないかと思いますが。

湯浅課長

検討がすすみましたらたたき台として基本設計でお示ししますので、その際はご意見をお願いいたします。

大原会長

限られた条件の中でよりよい図書館になるよう、行政と利用者が意見をすり合わせる機会を持っていただきたいと思います。

北尾教育長

美術館・図書館の整備は市長のマニフェストにも掲げてあり優先課題です。説明のあったように素案まで作ってもらっていましたが、建築法等さまざまな制限の中、できることとできないことを整理していかないといけません。その中には教育委員会内だけではわからない問題もあり、プロジェクトを庁内に広げて検討をしています。ただし、みなさんもお存知のとおり世界的な不況など予想外のこともあり、山ほど課題があります。優先順位をつけて順序だてて論点を整理し、取り組んでいく必要があります。早く基本設計を示したいと思いますが、状況をご理解いただき今後ともご協力をお願いいたします。

渡邊副会長

今日は教育長さんの言葉を聞いて安心をいたしました。

大原会長

教育長さんにはあいさつでもこの増改築についてふれてもらいありがとうございました。

北尾教育長

これは今日でなくて結構なんですけど、ご意見をお聞かせいただきたいと思います。増床の基本的な考え方なんですけど、無制限に広げることはできませんので書庫スペースのコンセプトを決めた上で設計に入らないといけません。個人的には利用者のスペースの拡大が重要だと思いますが、書庫スペースとの兼ね合いが出てきます。また、この大会議室は学習室としても利用してもらっていますが、学習スペースの確保についても他のスペースとの兼ね合いがあります。スペース確保と図書館機能の向上について、またご意見を聞かせてもらえたらと思います。

大原会長

それでは、本日の協議会は以上で終わりたいと思います。ありがとうございました。